



TITLE:

融解現象とその周辺

AUTHOR(S):

CITATION:

融解現象とその周辺. 物性研究 1973, 19(5): B1-B1

ISSUE DATE:

1973-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88603>

RIGHT:

融 解 現 象 と そ の 周 辺

融解現象は最も身近かな相転移であるにも拘らず、まだ充分解明されたとはいえない。しかし、この数年来、高圧下での融点降下現象等が刺激となって、国内の理論家の関心がかなり昂まって来ている。またその周辺分野、例えばガラス状態等に対する研究も、関連した問題意識で初められているので、現状を整理し、研究者間の交流をはかると共に、周辺分野の専門家をお招きして、お話しを伺い、討論に参加して頂いて、視野を広げようとの趣旨で、上記の研究会が昭和47年11月13日から3日間基研で開かれた。28名が参加し、充実した研究会であったと思うが、時間が不足して各テーマ毎の討論、まとめが充分でなかったのは惜しまれる。発表された研究を大雑把に分類すると以下のようになる。

A 高圧下の融解論とその電子論的基礎

B 量子効果を含む融解論とその周辺

C ガラス状態

D イオン性液体

E 単純粒子系の融解

(なお今回は液晶関係のテーマは除外した)

この研究会を足掛りに、この分野の今後の一層の発展が期待される。

末筆乍ら Review Talk を引き受けて下さった山下次郎先生、渡部三雄先生、関集三先生、武野正三先生に感謝致します。

(文 責 小 川)

世話人	森	肇
	松	田 博 嗣
	小	川 泰